

平成22年10月25日

平成22年10月25日

平成22年第8回  
南部町議会臨時会

会 議 録

南部町告示第69号

平成22年第8回南部町議会臨時会を次のとおり招集する。

平成22年10月14日

南部町長 坂本 昭文

記

1. 期 日 平成22年10月25日

2. 場 所 南部町議会議場

3. 付議事件

議案第77号 動産（天萬庁舎図書館備品）の取得について

議案第78号 平成22年度南部町一般会計補正予算（第3号）

議案第79号 平成22年度南部町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）

議案第80号 平成22年度南部町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

---

○開会日に応招した議員

板 井 隆君

仲 田 司 朗君

雑 賀 敏 之君

景 山 浩君

杉 谷 早 苗君

赤 井 廣 昇君

青 砥 日出夫君

細 田 元 教君

井 田 章 雄君

足 立 喜 義君

秦 伊知郎君

亀 尾 共 三君

石 上 良 夫君

---

○応招しなかった議員

植 田 均君

---

---

## 平成22年 第8回(臨時)南部町議会会議録(第1日)

平成22年10月25日(月曜日)

---

### 議事日程(第1号)

平成22年10月25日 午前10時00分開会

- 日程第1 会議録署名議員の指名
  - 日程第2 会期の決定
  - 日程第3 議事日程の宣告
  - 日程第4 議案第77号 動産(天萬庁舎図書館備品)の取得について
  - 日程第5 議案第78号 平成22年度南部町一般会計補正予算(第3号)
  - 日程第6 議案第79号 平成22年度南部町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
  - 日程第7 議案第80号 平成22年度南部町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 

### 本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
  - 日程第2 会期の決定
  - 日程第3 議事日程の宣告
  - 日程第4 議案第77号 動産(天萬庁舎図書館備品)の取得について
  - 日程第5 議案第78号 平成22年度南部町一般会計補正予算(第3号)
  - 日程第6 議案第79号 平成22年度南部町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
  - 日程第7 議案第80号 平成22年度南部町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 

### 出席議員(13名)

1番 板井 隆君	2番 仲田 司朗君
3番 雑賀 敏之君	5番 景山 浩君
6番 杉谷 早苗君	7番 赤井 廣昇君
8番 青砥 日出夫君	9番 細田 元教君
10番 井田 章雄君	11番 足立 喜義君
12番 秦 伊知郎君	13番 亀尾 共三君

14番 石上良夫君

---

**欠席議員（1名）**

4番 植田均君

---

**欠員（なし）**

---

**事務局出席職員職氏名**

局長 ----- 谷口秀人君 書記 ----- 本田秀和君

---

**説明のため出席した者の職氏名**

町長 ----- 坂本昭文君 副町長 ----- 藤友裕美君  
教育長 ----- 永江多輝夫君 総務課長 ----- 森岡重信君  
財政室長 ----- 唯清視君 企画政策課長 ----- 長尾健治君  
町民生活課長 ----- 加藤晃君 教育次長 ----- 稲田豊君  
健康福祉課長 ----- 前田和子君 保健対策専門員 ----- 櫃田明美君  
上下水道課長 ----- 頼田泰史君

---

**午前10時00分開会**

○議長（石上良夫君） おはようございます。植田議員は欠席の届けが出ておりますので、欠席でございます。

ただいまの出席議員数は13人です。地方自治法第113条の規定による定足数に達しておりますので、平成22年第8回南部町議会臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

---

**日程第1 会議録署名議員の指名**

○議長（石上良夫君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第118条の規定により、次の2人を指名いたします。

2番、仲田司朗君、3番、雑賀敏之君。

---

## 日程第2 会期の決定

○議長（石上 良夫君） 日程第2、会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。今期臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異義なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（石上 良夫君） 御異議なしと認めます。よって、会期は、1日間と決定いたしました。

---

## 日程第3 議事日程の宣告

○議長（石上 良夫君） 日程第3、議事日程の宣告を行います。

本日の議事日程は、お手元に配付の日程表のとおりであります。

---

## 日程第4 議案第77号

○議長（石上 良夫君） 日程第4、議案第77号、動産（天萬庁舎図書館備品）の取得についてを議題といたします。

町長から提案理由の説明を求めます。

副町長、藤友裕美君。

○副町長（藤友 裕美君） 副町長。議案第77号、動産（天萬庁舎図書館備品）の取得について。

動産（天萬庁舎図書館備品）を取得するため、地方自治法第96条第1項第8号及び南部町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第3条の規定によって、議会の議決をお願いをいたすものでございます。

本件につきましては、去る10月の20日、11社による指名をいたしまして5社が辞退があったわけでありましたが、入札を実施したものでございます。

1、取得する動産、天萬庁舎図書館備品一式。2、取得の方法、指名競争入札。3、取得金額、2,446万5,000円。4、契約の相手方、鳥取県米子市両三柳5031番地、株式会社衣笠商会米子支店、取締役支店長、衣笠一彦。という内容のものでございます。ひとつ、慎重に御審議をお願い申し上げます。

○議長（石上 良夫君） 提案に対し、質疑ありませんか。

13番、亀尾共三君。

○議員（13番 亀尾 共三君） 何点かお聞きしますので、よろしく申し上げます。

先ほど副町長の方から参加企業は11社あったけども、そのうち5社が辞退されたということなんですけども、これは何か理由があったのでしょうか。もし、理由が明らかであっておたらどう理由かをお聞きするのがまず1点です。

それから、取得というか、落札金額が2,446万5,000円となっておりますが、これの予定価格ですね、これが幾らが設定されていたのかということがもう一つです。

それから、これは衣笠商会の米子支店となっておりますけれども、支店ということは当然出先というか、言い方がどうかわかりませんが、本社はどこにあるのかということです。それで、この会社の主な取り扱いというのはどういうものを主に扱っておられるのかということ、この3点をお聞きしますので、よろしくお願ひします。

○議長（石上 良夫君） 休憩します。

午前10時05分休憩

---

午前10時13分再開

○議長（石上 良夫君） 再開します。

教育次長、稲田豊君。

○教育次長（稲田 豊君） 教育次長です。大変失礼いたしました。11社の指名のうち5社の辞退の理由ということなんですけれども、一応、備品につきましてメーカー等の指定をさせていただきました。その関係で、なかなか取引ができないという理由も何社かあったように記憶しております。

それから、予定価格ということなんですけれども、予定価格につきましては2,467万5,000円を予定価格にしております。

それから、衣笠商会の本社でありますけれども、本社は倉吉市の方でございます。扱いのものによれば、事務用備品とか消耗品とかの扱いをしておる業者のようです。以上です。

○議長（石上 良夫君） 13番、亀尾共三君。

○議員（13番 亀尾 共三君） ありがとうございます。ちょっとお聞きします。いつも議員の控室の方へ入札結果が閲覧として出るんですけど、今回出てなくて聞くんですけど、いわゆる11社のうち5社が辞退ということで6社の参加ということなんですけど、ちなみに最高は幾らだったのかということ。それと、入札ですから最低の金額がこの衣笠だったと思うんですけども、よく予定価格よりもどんと低くなって、これは欄外というんですか、失格ということがあるんですけど、今回もそういうことがあったのかどうなのかということ。この1点をお聞きします。

それから、もう1点、辞退の理由で指定ですね、メーカー指定しておったんだけども、不扱いだったんで辞退するという事なんですけども、私もようわからんのですけども、入札の公表ですか、公示にそういうことは書かれないわけでしょうか。その点について、この2点、3点ですか、で聞くんですが、よろしくをお願いします。

○議長（石上 良夫君） 教育次長、稲田豊君。

○教育次長（稲田 豊君） 教育次長です。最高額……（「入札」と呼ぶ者あり）入札の時点で税抜き価格で入札をしていただいております。一番最初の最高額というのは、2,620万が税抜き価格での入札金額になります。

それから、失格は、制限価格は設けておりません。備品の購入については制限価格を設けておりませんので、失格というものは発生しません。

それから、最低価格についてはこの契約をしていただいた金額で、税抜きで2,330万の金額になります。

もう1点は何でした……（「公示にメーカー指定なんかは」と呼ぶ者あり）一応、指名通知の中に、設計書にメーカー等の記載をしております。それで、同等品も可ということで指名通知をさせていただいて、同等品申請についても協議をしていただくようにして指名通知を出しております。

○議長（石上 良夫君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（石上 良夫君） 質疑がないので、質疑を終結して、これから討論を行います。

原案に賛成のほか討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（石上 良夫君） 討論を終結いたします。

これより、議案第77号、動産（天萬庁舎図書館備品）の取得についてを採決いたします。

議案第77号は、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（石上 良夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

---

## 日程第5 議案第78号

○議長（石上 良夫君） 日程第5、議案第78号、平成22年度南部町一般会計補正予算（第

3号)を議題といたします。

町長から提案理由の説明を求めます。

総務課長、森岡重信君。

○**総務課長(森岡 重信君)** 総務課長でございます。議案第78号、平成22年度南部町の一般会計補正予算(第3号)について御説明をさせていただきます。

---

議案第78号

平成22年度南部町一般会計補正予算(第3号)

平成22年度南部町の一般会計補正予算(第3号)は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6,830千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6,574,965千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

平成22年10月25日

南部町長 坂本 昭文

平成22年10月 日

決 南部町議会議長 石上 良夫

---

今回の補正予算の内容の主なものについて、地域資源活用調査事業及びインフルエンザワクチン接種事業を上げております。

地域資源活用調査につきましては、古事記編さん1,300周年に向けて、神話の舞台と言われる清水井から赤猪岩神社までの古い道、古道の調査整備、それから、観光案内板の設置、またこれに伴う南部町のホームページの整備などを予定をしているものでございます。

また、インフルエンザワクチン接種事業につきましては、新型インフルエンザ及び季節性のA香港型、B型を混合しました3価ワクチンを町民に幅広く接種していただき、インフルエンザの重症化の予防を図るために補助を行うものでございます。

それでは、歳出の方から説明をさせていただきます。5ページでございます。2款総務費、7目の財産管理費でございます。259万4,000円を増額をいたしまして、総額を3億363万3,000円とするものでございます。これは天萬の農業者トレーニングセンター横の作業所を改修をし、事務所機能を有する施設に、また、その横の車庫を作業場として使えるように整備

をするものでございます。

16目の企画費400万円を増額をいたしまして、総額を4億3,952万7,000円とするものでございます。冒頭に説明しました地域資源活用調査事業でございます。1節の報酬7万8,000円につきましては、本件を検討していただく委員報酬を考えております。8節の報償費50万円につきましては、御意見、御提案をいただきました方への謝礼を。それから、11節需用費16万3,000円につきましては、関連する書籍、資料の購入。12節役務費10万7,000円は、通信運搬費として各種送付のためのものでございます。また、13節の委託料315万2,000円につきましては、そこに記載しております湧水調査、古道の調査整備、それから案内板、またこれらに伴う南部町のホームページの整備などを予定をしております。

中段に、6目統計調査総務費7,000円でございます。これは統計調査を行っていただくようとする方へ、統計調査の意義や各種の情報を提供することによりまして、統計調査への理解、統計調査の精度を、回収率の向上、これを図ることを目的としてお願いをするものでございます。10分の10の補助となっております。

3款の民生費、1目の社会福祉総務費52万2,000円を増額補正をいたしまして、総額を2億6,925万4,000円とするものでございます。しあわせの浴槽ろ過タンクの継ぎ目から水漏れが発生をいたしております。タンクのろ過材も噴き出すなどの状態となったため、6月定例議会におきましてその修繕費として32万3,000円をお願いをしておりましたが、さらに状況が悪化をしております。修繕では間に合わず、ろ過タンク自体を取りかえて修繕する必要が発生したため、お願いをするものでございます。

6ページに移ります。中段の5目保育園費49万9,000円を増額補正をいたしまして、総額を3億4,741万9,000円とするものでございます。すみれ保育園遊戯室屋根に設置をしております雨どいの一部が破損して落下したため、当該箇所の修理を行うものでございます。これは幸いにも落下による園児や職員にけがはございませんでした。当該部分につきましてはアスベストが含有されておりますが、当該含有率がごくごくわずかであり、また危険な飛散性のものではない、このことのため健康を害するというような恐れはありませんが、今後、積雪等が予想されることから早期に修理を行うものでございます。

下段の4款衛生費、2目の予防費でございます。211万8,000円を増額をし、総額を2,079万8,000円とするものでございます。これは改正予防接種法に基づく新たな臨時接種を見込み、高齢者インフルエンザ予防接種の予算を別事業に組み替えるものでございます。従前の事業では役務費21万円、委託料780万円、計801万円を減額をしております。インフル

エンザワクチン接種事業では、需用費、役務費、委託料、扶助費、合わせまして1,012万8,000円となり、差額の211万8,000円を増額をしております。

3目でございます。健康増進費19万円を増額補正をいたしまして、総額を2,667万4,000円とするものでございます。40歳以上で集団検診希望の大腸がん検診未受診者などの方に検診キットを送付をいたしまして、これを回収することにより大腸がんの早期発見、早期治療の普及、啓発及び受診率の向上を目的とするものでございます。これは約2分の1の補助となっております。

7ページに移ります。上段5款農林水産業費3目の農業総務費でございます。28節の繰出金250万の減でございます。これは農業集落排水事業特別会計への繰出金でございますが、同会計におきまして資本費平準化債の増額ができることになったため、これを増額をいたしまして一般会計からの繰出金を同額減とするものでございます。

次の段、7款の土木費1目の公共下水道費でございます。60万円の減としております。公共事業特別会計へのものでございますが、先ほどの農業集落排水事業特別会計へのものと同様の理由でございます。

続きまして、今度歳入の方の説明をさせていただきます。歳出に伴う財源が主なものでございます。

4ページをお開きください。15款県支出金3目の衛生費県補助金。保健衛生費補助金192万4,000円でございます。先ほど歳出の方で御説明をさせていただきました新型インフルエンザワクチンの助成が183万1,000円。それから、大腸がん検診特別推進支援補助が9万3,000円、合わせましたものが192万4,000円でございます。

1目総務費委託金、統計調査委託金7,000円でございます。これは統計調査員確保対策事業の委託金として計上したものでございます。

19款繰越金でございます。前年度繰越金489万9,000円としております。以上で平成22年度南部町の一般会計補正予算（第3号）についての説明を終わらせていただきます。御審議のほど、よろしく願いをいたします。

**○議長（石上 良夫君）** 提案に対し、質疑ありませんか。

13番、亀尾共三君。

**○議員（13番 亀尾 共三君）** 何点かお聞きしますので、よろしく願います。

まず、全協でも説明していただいたんですけども、いわゆる古道の分ですね、神話に基づく分なんですけども、道路の延長が直線でいうと800メートルぐらいだということですね。恐らく、

曲がってるところがあるので、もっとふえるというぐあいには想像するんですけども、そこで聞くんですけども、この南部町の中で神話に基づいてやるということで、清水井とそれから、何だったかな……（発言する者あり）赤猪岩神社の方でやるということなんですけど、ほかに将来わかって、このような神話に基づいてやるべきことがあるのかどうなのかということが1つです。今回は、特交によって県の方で400万が出るんですけども、これがこの中でおさまるかどうかは私、恐らく試算されてると思うんですけども、出た場合は一般会計から出さんといけんだないか思ってるんですけど、これが結局上限枠だと、筒いっぱいということなんですけども、どうなんだろうかなということ。この試算の中でおさまるのかということが出来るのかということと、それから先ほど聞いたように、将来に新たに神話に関係するところが出てくる、予想される場所があるのかどうなのか、この点をまずお聞きします。

それから、新型インフルの補助のことなんですけども、つまり生保、生活保護の人、それから非課税の世帯については負担なしということの説明をいただいたんですね。その中で、1つだけ私お聞きしたんですけども、妊婦さんについてはどうなんだろうということについては、通常のやり方でいくということなんですけども、何人該当されるかわかりませんが、そんなにそんなに大きな人数だないと思うんですよね。妊婦さんということになれば、やはり今、少子化の問題で言われてるんだから、これについて補助をするということを上乗せするということを目指したいと思うんですけども、どうなんだろうということをお聞きします。

それから、これが私の計算が間違っておたらなんですけども、課税の中で見ますと1歳から12歳が630人、それから13から15が課税が140人ですか、これをやはり去年もお願いした、すべきではなかろうか。いわゆる中学生までは負担なしにすべきではないかということと言ったんですけども、これも上乗せする考えはないかということなんです。ちなみに、妊婦さんの分はわかりませんが、ここではっきりと数字がわかってる生徒の分をなくした場合にはですね、負担、一体どれぐらいになるのかということ、このことについてお聞きしますので、よろしくお願ひします。

**○議長（石上 良夫君）** 企画政策課長、長尾健治君。

**○企画政策課長（長尾 健治君）** 地域資源活用調査事業についてのお尋ねにお答えいたします。神話に基づく今回上げました清水井、それから赤猪岩神社のほかに神話に基づくようなものをお考えお尋ねでございましたが、南部100選というものが5周年につくられております。この中にもいろいろ町内のそういうお尋ねのものがございます。具体的に今後のこととなりますが、例えば御内谷にございます天宮さんという巨石群、それから金華山と熊野神

社というのもイザナギノミコトを祭ったところでございます。そういうようなところをこれから光を当ててまいりたいというふうに考えておるところです。

それから、もう1点の御質問、400万円が上限ということですが、これ以内でおさまるかということですが、その中でおさめるつもりで事業を計画しておるところでございます。以上でございます。

○議長（石上 良夫君） 健康福祉課長、前田和子君。

○健康福祉課長（前田 和子君） 健康福祉課長でございます。妊婦さんに対しますインフルエンザの補助を申し上げます前に、今年度の新型インフルエンザの補助の対象の方について若干申し上げておきたいと思っております。今回は、高齢者の方についてこれまでは季節性のインフルエンザということでしたが、新型インフルエンザも含めました3価ワクチンということございまして、今回1回で済むわけでございますけれども、昨年度と同様に低所得者の方は全額補助、それから課税世帯の方は、1,000円御負担をいただくということで実施をする予定でございます。そして、低所得者の方でございますけれども、高齢者を除いた低所得者の世帯につきましては全額町の方が補助をいたしますので、本人さんの御負担はゼロということになります。

また、もう1点は、課税世帯のうち1歳から中学生までの方に対しまして、1,000円の補助を予定するように予算をお願いをしているものでございます。ただいま、御質問のございました妊婦さんに対する補助でございますけれども、これは積極的な勧奨というものはしないという方針で今年度もいきたいというふうに考えております。したがって、低所得者以外の方に対する妊婦さんについては課税世帯ということで、御自身の負担と判断で予防接種を受けていただきますようお願いをするものでございます。

それから、中学生までの負担でございますけれども、1,000円の補助ということ、今予算措置をしておるところでございますけれども、これにつきましても個人の御負担が若干いただきたいというふうをお願いをするものでございます。ちなみに、お子さんの予防接種医療でございますけれども、町内におきましては、これは医療機関で単価が決まっております。実を申しますと昨年度につきましては、全国统一した予防接種医療でございまして、1回目が3,600円というふうに決まっておりました。しかし、今年度につきましては、西部管内の医師会では予防接種医療は、医療機関で定められた接種料ということでございますので、3,600円を上限としてその医療機関で定められた額ということでございます。したがって、お子さんに対します予防接種と申し上げますと1,500円ぐらいのところから2,500円ぐらいのところまで設定されているのではないかと考えております。したがって、町が1,000円

の補助をさせていただきますので、本人さんの負担は500円から1,500円、2,000円ぐらいになろうかとも思いますけれども、御自身の判断でお受けいただきたいというふうに思います。

それから、生保の負担をなくすというふうに3点目おっしゃいましたが、これにつきましてちょっとどういう意味かわかりませんので、もう一度お願いをいたします。

**○議長（石上 良夫君）** 13番、亀尾共三君。

**○議員（13番 亀尾 共三君）** 答弁ありがとうございます。もう一つ、企画課長に念を押すんですが、しつこいようなんだけど、400万が限度ということで初めてのことだと思うんですが、仮にここ400万よりか上になったと、最終的になるようだという場合は、一般財源でもつぎ込んで、この上にですよ。完全にこれをやり遂げたいというのか、あるいは上限がここできたんで、またの機会で続きをやろうというぐあいになるのか。恐らく、400万の中でおさまられるということなんですけど、仮にそういうぐあいになった場合にどうされるのかということ再度、確認のためにお聞きします。

それから、インフルのことなんですけども、去年はやっぱり課税の子供、課税世帯の子供については負担はあったんですよ。統計とっておられるかどうかわかりませんが、負担があったために、課税世帯の子供が受けなかったことがもしつかんでおられたですね、わかれば教えてください、私はわかりませんが、みんな完了してるんならそれでいいんですが、ということと、それからもう1点は、私の質問の、質疑のかけ方が悪かったかもしれませんが、私が計算するとまた違っておたらけませんので、この委託料のところ、表の1歳から12歳で630人、それから、13歳から15歳、課税ですよ、これが140人となっているけども、これを負担をなくして町の方で持つということになると、幾らの出しになるんでしょうかということをお聞きしますので、もし試算しておられたらよろしくお願いします。

**○議長（石上 良夫君）** 企画政策課長、長尾健治君。

**○企画政策課長（長尾 健治君）** 企画政策課長でございます。上限400万、これがオーバーしたらという御質問でございましたが、今年度におきましてはこの額を示されておりますので、この金額の中で事業展開をするというふうに考えておるところでございます。以上でございます。

**○議長（石上 良夫君）** 健康福祉課長、前田和子君。

**○健康福祉課長（前田 和子君）** 健康福祉課長でございます。課税世帯で前年度受けなかった方というのは申しわけございませんが、把握をいたしておりません。

それから、2点目のこの13歳までの方の負担を全部町が持つときの試算ということでござい

ますけれども、先ほどちょっと説明をさせていただきましたけれども、これはちょっと試算がしにくいものがございます。といいますのは、医療機関が独自で設定をいたしますので、3,600円を請求してくるところもあれば、1,500円を請求してくるところもあるというふうに考えておりますので、それはちょっと試算ができません。一般的に3,600円全額見るのが本当かなと、そういう場合にはですね。ちなみに、鳥取県の東部、中部につきましては、課税世帯のところ町が補助する場合には、3,600円を見ているというふうに聞いたところでございます。よろしくお願いいたします。

**○議長（石上 良夫君）** ほかに質疑はありませんか。

12番、秦伊知郎君。

**○議員（12番 秦 伊知郎君）** 事業説明書の資料の2ページ、今亀尾議員が質問されておりました件なんですけど、この事業は古事記編さん1300年ということ 키워ドにして事業を展開されようとしておられますが、同じような事業というのは近隣町村でもあるのかどうか。あるいは南部町だけで考えられたのか。というのは、どうしてもこういう事業は多少、他町村とも同じような資源を持つところと交流して行って、初めて効果が出るのではないかなというふうに考えてますんで、その点はどうなのか御説明いただきたいと思ひます。

**○議長（石上 良夫君）** 企画政策課長、長尾健治君。

**○企画政策課長（長尾 健治君）** 企画政策課長でございます。お尋ねの件につきましては、鳥根県は非常に力を入れて今、今後キャンペーン等も打っていかれるというふうに聞き及んでおるところでございます。今回の地域資源活用調査事業の中で、そういう近隣の動きもきちんと把握して、なおかつ連携をいかにとっていくかということもあわせて、今後議員がおっしゃっていただきますように、そのスクラムを組むところはきちんと組むということで進めてまいりたいと思ひます。以上でございます。

**○議長（石上 良夫君）** 12番、秦伊知郎君。

**○議員（12番 秦 伊知郎君）** スクラムを組んでやっていきたいというのはわかったんですけど、そういう事業を展開しようとしているところがあるのかどうかということをお聞きしたいと思ひます。

それから、先ほど亀尾議員が言われましたが、私は交流人口がもしこの事業でふえていくのならば、やっぱり若干の投資というのは町独自でもやってもいいのではないかなというふうに思ひてますんで、それを踏まえて同じような事業をやっているところがあるかないかということをお聞きしたいと思ひます。

○議長（石上 良夫君） 企画政策課長、長尾健治君。

○企画政策課長（長尾 健治君） 先ほど島根県というふうに申し上げましたが、市町村についての動きというのは現在まだ把握しておらないところでございます。

○議長（石上 良夫君） ほかに質疑ありませんか。

3番、雑賀敏之君。

○議員（3番 雑賀 敏之君） 2点ほどお聞きいたします。

この予算説明書の1ページの、農業者トレーニングセンターの横の事務所の改修なんですけど、現在事務所として使えないんで改修をするということでございますが、効果等の中で、改修をすれば行政機能、出先機関を設置することも可能であるというぐあいに書いてありますが、具体的にそういうところが今予定がされようとしてるのか、具体策があればお聞きしたいと思います。

（「書いてある、南部広域シルバーセンター」と呼ぶ者あり）いや、それは下なんです。（「えっ」と呼ぶ者あり）それは下なんです。（「いや、書いてある」と呼ぶ者あり）当面の間は、南部広域シルバー人材センターに貸与し、ということなんですけど、今、南部広域シルバー人材センターは天萬庁舎の裏に事務所があると思いますが、そことの関連。それで、当面はということになっておりますが、非常にあいまいなんでどれくらいを拠点事務所とする予定であるということになれば当面というのはいないから、半永久的にならないと拠点というぐあいにならないと思いますので、その辺どのようなお考えか、お聞きしたいと思います。

それと、8ページの健康福祉課の関係なんですけど、大腸がんキットの関係で、計画で検診キット配布対象者ということで、平成21年10月1日時点の40歳、60歳人口の合計338名。それと、もう一つ、これと合わせてなんででしょうか、40歳以上で集団検診希望の未受診者、これは合計が338名なのか。それと、この平成21年というのは昨年になると思いますが、これは確認なんですけど、これでよろしいかどうかお聞きしたいと思います。

○議長（石上 良夫君） 総務課長、森岡重信君。

○総務課長（森岡 重信君） 総務課長でございます。効果のところでございます。

当面の間はここに書いてございますように、南部広域シルバー人材センターに使用していただくというふうに考えております。ただ、そのシルバー人材センターも今町の中に2つありますけども、それがいつまでも2つがいいのかということがございます。将来には1つになれば、そこはシルバー人材センターで使うというようなことにはなりませんので、そういったときには具体的にこういうところということにはちょっとないですけども、行政機関とか、いろんな方に使っただけのような形がとれるのではないかとというふうな考え方で計画をしております。シルバー人

材センターにつきましては、今、交流会館の方に入っております。公民館の方には地域振興協議会の方に入っております。ただ、公民館につきましては全面解体ということで、その後、駐車場にするということにしております。そうしますと、公民館におられた地域振興協議会、交流会館を拠点として活動を活発化させようと、推進しようというふうにおっしゃっていただいております。そうしますと、交流会館の方には振興協議会の方に入いただき、今おられますシルバー人材センターの方には上段の今計画しております事務所の方に入いただき、その横にバスの車庫があります。車庫も少し手をかけまして作業できるような施設にすれば、シルバー人材センターもその作業場の確保ということもできますので、非常に効率的だということで考えております。以上です。

○議長（石上 良夫君） 保健対策専門員、櫃田明美君。

○保健対策専門員（櫃田 明美君） 大腸がん検診についての御質問ですが、このたびの予算は、鳥取県がこのたび大腸がん検診特別推進支援事業というものを設けまして、その事業を活用して計画をしたものでございます。338人の人数についてですが、この補助金の事業の補助対象の方が前年の10月1日時点の年齢推計人口が40歳と60歳の方というふうになっておりますので、その人数が338人ということでございます。事業の実施方法につきましては、町村に裁量が任せられておりまして、必ずこの40歳と60歳ということに限らないということで県の方から聞いておりますので、南部町といたしましては年度当初に集団検診を受けますというふうに申し込みをいただいた方のうち、未受診の方に対してキットを送って回収をしようということと、実際には大国まつりとか天津の祭り等のそういう場を活用して、大腸がん検診の受診者をふやしていこうという取り組みを今回計画しておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（石上 良夫君） 3番、雑賀敏之君。

○議員（3番 雑賀 敏之君） 最初の関連質問なんですが、先ほど総務課長の方から、今の公民館は解体をして駐車場にするという予定なんだということですが、あそこの後ろに土地改良区の事務所がプレハブであります、あの辺はどのようにお考えなのかお聞きしたいと思います。

○議長（石上 良夫君） 総務課長、森岡重信君。

○総務課長（森岡 重信君） 総務課長でございます。改良区の事務所が一番先のところがございます。直接まだここだという話はしておりませんが、基本的には移動していただきたいというのが町の考え方でございます。ただ、それができないということになれば、またその辺は話をしていかんといけんですけども、まだ具体的にそこの話を詰めた段階ではございませんので、

今後協議をしながら進めてまいりたいというふうを考えております。

○議長（石上 良夫君） 9番、細田元教君。

○議員（9番 細田 元教君） 何点かお聞きします。主なところは全部お答えしていただきましたので。

まず、初めに、このシルバー人材は聞きましたのでいいですけども、この例の赤猪岩神社と清水井の問題ですが、ここに、事業内訳説明書の中に古事記編さん1300年に向けてということがありました。これはそういう事業が国の事業かなんかであるんでしょうか、それがまず第1点。それがあるので、うち家もそれに便乗してやろうかということなのか、単町でこういうことをやられるのかだけです。

それと、もう1点は、インフルエンザですが、要は200万でしたかいね、211万8,000円追加補正しておりますが、これは去年と比べまして対象者がふえるようにされたのか、金額がふえることはむしろ減るぐらいだと試算しましたが、あとは対象者がふえるのかなと思っておりますが、その件。

それと、大腸がん検診ですけども、たまたま県のそういう補助事業ができたということで便乗されたようですけども、19万円ですけども、もともと我が町ではこの大腸がん検診率が少ないので、またこういうのを充ててこれを実施して図りたいと、そういう意味が含まれてるかどうかをお聞きしたいと思います。

○議長（石上 良夫君） 企画政策課長、長尾健治君。

○企画政策課長（長尾 健治君） 企画政策課長でございます。細田議員よりただいま、古事記編さん1300年を記念しての国等の事業があるかというお尋ねでございましたが、現在、国がこういう事業をするというのは私はまだ聞いておりません。把握しておりませんということでございます。以上です。

○議長（石上 良夫君） 健康福祉課長、前田和子君。

○健康福祉課長（前田 和子君） 健康福祉課長でございます。新型インフルエンザの予防接種の補正でございますけれども、これは当初高齢者の季節性の予防接種料金を計上いたしておりましたので、季節性のインフルエンザは全額自費でございましたけれども、今回3価ワクチンということで新型が入りましたので、若干その部分が補助対象になるということでございます。結局、1回で終わるといふものでございますので、当初組んでいたものを引きますと200万ばかりの増額補正になるということでございます。以上です。

○議長（石上 良夫君） 保健対策専門員、櫃田明美君。

**○保健対策専門員（櫃田 明美君）** 大腸がん検診についての御質問ですけれども、大腸がん検診の受診率が県下で低いというわけではないんですけれども、年度当初に大腸がんとかの申し込みをしていただくのが、大体2,600人から2,700人の方には受診を申し込みをしていただきますが、実際受けていただく人数が1,200人と、4割、5割に達しない状況ですので、せっかく申し込みをしていただいても受けていらっしゃらない方がたくさんあるということですので、ぜひともそういう方に再度、直接今回の県の補助金が新しい方法なんですけれども、そういう方に郵送でキットを送って受診していただくということですので、効果についてはちょっと、これからやってみないとわからないところもありますが、多くの方にぜひ受けていただきたいという趣旨でこのたび計画をいたしました。よろしく願いいたします。

**○議長（石上 良夫君）** 9番、細田元教君。

**○議員（9番 細田 元教君）** 今、古事記が発刊されてからどうか知らんけど、1300年たったということですね。ほったら、この清水井と赤猪岩神社は、古事記に載ってるということは話はお聞きしました、よう聞いてました。その1300年たつこの記念事業は、我が単町でやりましょうということでしたんですね。ほったら、俺は国がやって、そこに便乗したもんでばかりおったんだけど、そのように解釈していいのかどうか。

それと、大腸がん検診ですけれども、これいろんな検診があります。なぜ県がこの大腸がんだけ特定してこのような補助をつくれたかという背景を、ちょっとまた教えていただきたいと思えます。

**○議長（石上 良夫君）** 保健対策専門員、櫃田明美君。

**○保健対策専門員（櫃田 明美君）** 鳥取県は、1つは、がん予防基本条例というものを県で独自に定められたということがございますし、大腸がんの死亡につきましては、2008年に75歳以下の大腸がんの死亡率が女性の場合全国一だったということがございまして、大腸がんを今年度鳥取県が力を入れるということでございます。

南部町につきましても、平成18年が4人、19年が5人、20年が4人の大腸がんによる死亡がございまして、大腸がん検診で大腸がんが発見されてる方も毎年数名ずつございまして、南部町といたしましてもこのたびはこの事業を取り組んだということでございます。よろしく願いいたします。

**○議長（石上 良夫君）** 企画政策課長、長尾健治君。

**○企画政策課長（長尾 健治君）** お答えします。古事記1300年につきましては、2012年編さんされて1300年を迎えるわけでございますけれども、国の方と申しますか、先ほども秦

議員のお尋ねの中で島根県ということを申し上げましたが、その動きについても若干補足説明をさせていただきます。

まず、島根県におかれましては、出雲大社の平成の大遷宮が2013年までに行われるということもありまして、いろいろな事業を県内で構えておられます。それから、島根県内の市町村及び民間団体が一体となって神話のふるさと島根ということで、いろいろなアピールや催しを構えておられるところがございます。そして、赤猪岩神社についてですが、古事記に赤猪岩神社ということについてのお話が場所も含めて明記されておるところでございます。

さて、本町におきましてこの事業に、今回提案します事業に着手する計画を立てましたのは、緑の分権改革調査事業というものがこの春、国から示されたところでございます。このことに沿って、この事業を展開していこうということで、今回御相談申し上げておるところでございますけれども、この事業は、地域主権型社会を構築するために個々の人の生活や地域の経済等における分散自立等を目指す必要があると、そのためにこの緑の分権改革を推進し、それぞれの地域が豊かな自然環境を再生可能なクリーンエネルギー、安全で豊富な食糧、歴史、文化資産の価値等を把握して、最大限活用する仕組みをつくり上げていくことによって地域の活性化、きずなの再生を図るということで、地域から人材、資金が流出する中央集権型の社会構造を改めていうというのが大きな目的でございます。この趣旨に沿ってこの事業を展開、御提案申し上げるところでございます。

**○議長（石上 良夫君）** 町長、坂本昭文君。

**○町長（坂本 昭文君）** 町長。古事記1300年に向けて、これは平成24年に来るわけですが、けれども、さまざまな取り組みをして、この山陰地方に多くの観光客でも来ていただきたいというのが基本的な考え方でありまして、先ほども課長が言いましたように島根県の方では随分大きな、大がかりなイベントをなさっておられますし、それから、既に東京の方でも島根県のそういう取り組みがPRされているというようになっているわけです。

赤猪岩神社や白兔海岸の因幡の白ウサギの話をやっぱりしていかないと、大国主の物語は完成せんわけでございます。鳥取県としましても何とかそういうことをPRして島根にばかりじゃなくて、この鳥取の方にも関心を向けて足を運んでいただきたいというような思いがあるわけです。

緑の分権改革構想の中で南部町としては、先ほど申し上げたような構想を提案して国に認めていただき、特別交付税で措置をしていただくということなんですが、このほかにも、今、ことはまだ提案しておりませんが、あそこに県道から入る道路の整備や、それから駐車場の整

備というようなことについて、まだ具体的にはないんですけども、大ざっぱに計画をいたしております。県の文化観光局ですか、などとも連絡を取り合って、そういうハード的な整備、それから、ソフト的な整備といったようなことで、この際、100選にあわせた看板を設置をしたりというようなことを進めていきたいもんだというように考えているところでございますので、よろしく願いいたします。

○議長（石上 良夫君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（石上 良夫君） 質疑を終結して、これから討論を行います。

原案に賛成のほか討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（石上 良夫君） 討論もありませんので、討論を終わります。

これより、議案第78号、平成22年度南部町一般会計補正予算（第3号）を採決いたします。  
議案第78号は、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（石上 良夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

---

## 日程第6 議案第79号

○議長（石上 良夫君） 日程第6、議案第79号、平成22年度南部町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）を議題といたします。

町長から提案理由の説明を求めます。

上下水道課長、頼田泰史君。

○上下水道課長（頼田 泰史君） 上下水道課長でございます。議案第79号について説明をいたします。

---

議案第79号

平成22年度南部町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）

平成22年度南部町の農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

（歳入予算の補正）

第1条 歳入予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入予算の金額は、  
「第1表 歳入予算補正」による。

(地方債の補正)

第2条 地方債の変更は、「第2表 地方債補正」による。

平成22年10月25日

南部町長 坂本 昭文

平成22年10月 日

決 南部町議会議長 石上 良夫

---

地方債の変更について説明をいたしますので、3ページの方をごらんください。第2表、地方債補正。1、変更。地方債の目的は資本費平準化債になります。変更前の金額が4,950万、補正後の金額が5,200万ということでございます。

歳入の内訳について説明をいたしますので、4ページの方をごらんになってください。下の方ですけれども、2、歳入ということで、繰入金、一般会計からの繰入金です。補正の金額が250万の減額、合計が1億1,563万3,000円でございます。

町債の方ですが、下水道債でございます。補正の金額が250万、合計の金額が5,200万。内容は、資本費平準化債でございます。以上が農業集落排水事業の説明になります。御審議をよろしくお願いいたします。

○議長(石上 良夫君) 提案に対し、質疑ありませんか。

13番、亀尾共三君。

○議員(13番 亀尾 共三君) 1点だけお聞きします。今回、起債を起こされるんですけども、この起債の返還というんですか、借り入れ期間というのは何年を予定されているのかということをお聞きします。

○議長(石上 良夫君) 上下水道課長、頼田泰史君。

○上下水道課長(頼田 泰史君) 5年据え置き30年償還という形でございます。

○議長(石上 良夫君) ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(石上 良夫君) 質疑を終結いたします。

討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(石上 良夫君) 討論もありませんので、討論を終結いたします。

これより、議案第79号、平成22年度南部町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）を採決いたします。

議案第79号は、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（石上 良夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

---

### 日程第7 議案第80号

○議長（石上 良夫君） 日程第7、議案第80号、平成22年度南部町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）を議題といたします。

町長から提案理由の説明を求めます。

上下水道課長、頼田泰史君。

○上下水道課長（頼田 泰史君） 議案第80号について説明をさせていただきます。

---

議案第80号

平成22年度南部町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

平成22年度南部町の公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

（歳入予算の補正）

第1条 歳入予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入予算の金額は、「第1表 歳入予算補正」による。

（地方債の補正）

第2条 地方債の変更は、「第2表 地方債補正」による。

平成22年10月25日

南 部 町 長 坂 本 昭 文

平成22年10月 日

決 南 部 町 議 会 議 長 石 上 良 夫

---

地方債について説明をいたしますので、3ページの方をごらんください。第2表、地方債補正。1、変更。起債の目的は資本費平準化債です。補正前の金額が2,450万、補正後の金額が2,510万円でございます。

歳入の内訳については、4ページで説明をさせていただきます。2の方の歳入、3款になります。繰入金です。一般会計繰入金、補正額60万円の減額、合計が9,642万6,000円。

町債、下水道債、補正金額が60万円、合計が2,510万円。内容は、資本費平準化債になります。御審議をよろしくお願いいたします。

○議長（石上 良夫君） 提案に対し、質疑ありませんか。

13番、亀尾共三君。

○議員（13番 亀尾 共三君） これも79号と同じ質問なんですけど、60万の起債なんですけど、これも返済期限というのは前期限と同じでしょうか、そのことが1点です。

○議長（石上 良夫君） 上下水道課長、頼田泰史君。

○上下水道課長（頼田 泰史君） 上下水道課長です。60万借りるというわけじゃなくて、当初あったのに60万を追加する格好になります。（「あっ、そうか」と呼ぶ者あり）返済の形は同様でございます。

○議長（石上 良夫君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（石上 良夫君） 質疑なしと認めます。

討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（石上 良夫君） 討論もありませんので、討論を終結いたします。

これより、議案第80号、平成22年度南部町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）を採決いたします。

議案第80号は、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（石上 良夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

---

○議長（石上 良夫君） 以上をもちまして今期臨時会の会議に付議された事件はすべて議了いたしました。よって、第8回南部町議会臨時会を閉会いたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（石上 良夫君） 御異議なしと認めます。これをもちまして平成22年第8回南部町議

会臨時会を閉会いたします。御苦労さんでした。

**午前 11時13分閉会**

---